

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

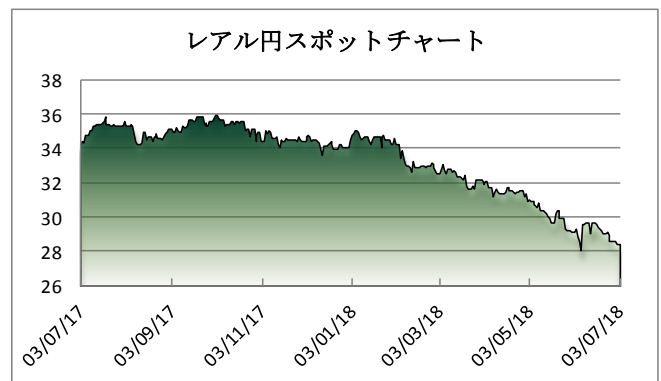
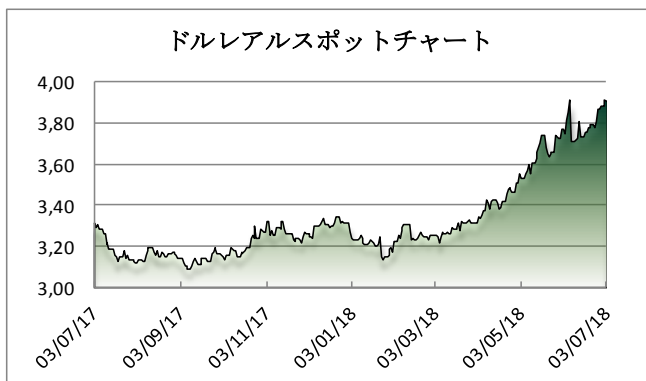
マーケットサマリー

中国人民銀行の易綱総裁は昨日、「人民元相場を合理的かつ均衡の取れた水準で基本的に安定を維持する」と発言し、米国との通商問題で人民元を武器として活用することはない、との見解を表明。中国金融当局が6月半ばの元下落以降、為替について見解を明らかにしたのはこれが初めて。また、人民銀行金融研究所の孫国峰所長も、「最近の元相場は幾分の弱さを示している。これは国外の不確実性が高まる中で市場の期待が変化したことが原因であり、人民元の意図的なガイダンスとは無関係」、「中国は多国間協調主義とグローバルイゼーション、自由貿易、規則に基づく国際的なガイダンスを支持しており、貿易問題に対処する手段として元相場を利用することはない」と論じており、ブラジル銀行と同様、ドルの対外的な強さが足許の通貨安の要因として挙げている。中国金融当局者の発言を受けてドルが全般的に軟調となり、昨日のリアル相場も一時3.87台前半までドル安リアル高が進行。しかし、引けにかけてはリアルが反落し、3.89台後半で取引を終えている。なお、ブラジル中銀は1万4千枚のロールオーバーのみで、昨日もスワップ入札は見送っている。国内外ともに材料が希薄となっていることも奏功し、リアル相場は落ち着きを取り戻しているが、マーケットでは大台である4リアルを突破した際の中銀のリアクションに引き続き注目している。中銀はスワップ入札を当面の介入策として明示しているが、一部では、外貨準備の利用も選択肢として残されている、との見方も浮上している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	7月2日	7月3日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
リアル	対ドル	BRL	3,9113	3,8974	-0,36%	3,49%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	28,35	28,38	0,11%	-2,44%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,5528	4,5437	-0,20%	3,47%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,90	110,59	-0,28%	0,96%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	129,07	128,93	-0,11%	0,95%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	72.840	73.668	1,14%	-4,62%	88.318	69.069
CDS Brazil 5yrs		bps	274,80	267,97	-2,49%	13,93%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11,40	11,43	0,26%	0,12%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,79	6,84	0,74%	1,33%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3425	2,3425	0,00%	1,07%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	197,50	197,48	-0,01%	-2,10%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。